

研究協力のお願い

この度、本学において下記の内容にて観察研究を行うことになりました。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学

整形外科学教室

記

研究課題名：	肩上方関節包再建術を併用した人工肩関節置換術の治療成績：後方視的研究
研究の目的：	修復困難な腱板断裂を伴った変形性肩関節症に対する、肩上方関節包再建術を併用した人工肩関節置換術の治療成績を調査します。
研究の意義：	修復困難な腱板断裂を伴った変形性肩関節症に対して、近年はリバーズ型人工肩関節全置換術の治療成績に関する報告が増加していますが、肩関節の内・外旋可動域が術前よりも減少するという報告もされています。一方、我々が行っている肩上方関節包再建術を併用した人工肩関節置換術は肩関節の挙上のみならず、内・外旋可動域の改善も見込める手術であると考えます。本術式の治療成績を調査することにより、手術適応の決定や術後成績の予測をする上で有用な知見が得られるものと考えます。
研究の対象：	2011年1月から2023年3月までに修復困難な腱板断裂を伴った変形性肩関節症に対して手術(肩上方関節包再建術を併用した人工肩関節置換術もしくはリバーズ型人工肩関節全置換術)を受けられた患者さん
該当期間：	2011年1月1日 ~ 2019年12月31日
研究の方法：	本研究では、修復困難な腱板断裂を伴った変形性肩関節症に対して過去に当院もしくは共同研究機関で手術治療(肩上方関節包再建術を併用した人工肩関節置換術もしくはリバーズ型人工肩関節全置換術)を行った患者さんを対象とします。診療記録から術前後の可動域、疼痛、臨床スコアの評価を行い

研究分担者：	大阪医科薬科大学 整形外科学	准教授	三幡 輝久
共同研究機関：	第一東和会病院 整形外科	部長	森内 宏充
	葛城病院 整形外科	医長	藤澤 幸隆

本研究で利用させていただく研究情報については、将来、別の研究に利用（二次利用）させていただく場合があります。その場合は、改めて研究倫理委員会へ申請の上で、研究を実施いたします。

対象者の方（その代理人）の申し出により、他の対象者の方の個人情報保護や本研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、本臨床研究計画及び方法に関する資料を入手又は閲覧できます。

ご自身の既存情報を研究に使用させて頂くことに対して同意頂けない場合は、下記の申し出先までご連絡ください（対象者の代理人からの申し出も受付いたします）。申し出をされた場合は、本研究への利用はいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、データを研究結果から削除することができかねますので、予めご了承ください。

問い合わせ、参加拒否の申し出先：〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号

大阪医科薬科大学 整形外科学教室

（大阪医科薬科大学病院 整形外科）

担当者： 長谷川 彰彦

T E L： 072-683-1221（代表）

内 線： 2364（PHS 56475）